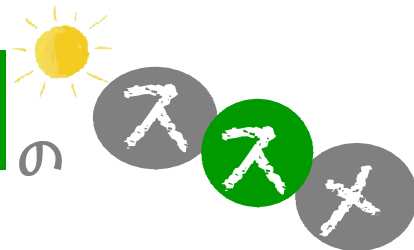


保養



あつという間に夏休み！
今年の夏は、お子さんとご一緒に保養に出かけてみませんか？
診療所には、全国各地からの保養受け入れ情報が届いています。
お気軽に、診療所へお立ち寄りください。

★茨城県桜川市

保養先：筑西職業訓練センター宿泊所(桜川市)
バンガローも用意しました☆
期間：7月30日(木)～8月3日(月) 4泊5日
対象：子どもさんを含む福島の家族 5～6家族程度
(約15人～20人)
参加費：宿泊・食費は無料、交通費は負担願います
ここで：筑波山ハイキング、宇宙センター・エキスポセンター
できること：(つくば市)陶芸教室、プール、ブルーベリー摘みなど
その他：線量をきちんと測って対応していますので
安心して来て下さい。
主催団体：福島子ども達とつながる茨城保養の会

★千葉県勝浦市

保養先：民宿神田(勝浦市)
期間：7月18日(土)～22日(水) 4泊5日
対象：7～8家族程度
定員埋まり締め切りさせていただきます。
参加費：宿泊・食費は無料、交通費は負担願います
主催団体：避難プロジェクト@ちば
原発なくせ！ちばアクション
★広島県安芸太田町でも実施します
主催：安芸太田保養支援グループ

それぞれの団体の案内チラシは診療所に置いてあります

★山梨県忍野村

保養先：民宿「大白荘」(標高929メートル)
山梨県南都留郡忍野村
期間：8月15日(土)～8月17日(月)
2泊3日
対象：福島県在住の3歳以上のお子さんとその保護者20人ほど
参加費：大人1人3,000円、子ども(高校生以下)1人2,000円 交通費・宿泊費・食費は無料
ここで：水遊び、バーベキュー、散策、絵画教室、
できること：うどん打ちなど
主催団体：NAZEN(すべての原発いますぐなくそう！全国会議)保養プロジェクト



楽しかったなあ♪ 山梨県南アルプス市 <春休み保養報告>

放射能から福島子どもたちを守る山梨の会
福島から7人の小学生(新2年生から新5年生までの男子3名、女子4名)を迎え、3月27日から3泊4日の日程で行いました。
短い期間でしたが小学生たちには、御勅使川福祉公園での遊び、山梨の郷土料理「ほうとうの手打ち」体験、果樹園での剪定した枝集め作業・焼き芋・バーベキューなど、思い切り遊んでいただくことができました。あつという間の3泊4日でした。



※「山梨毎日新聞」で報じられました。

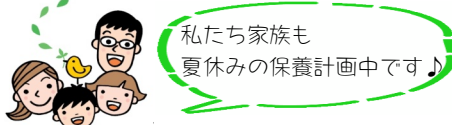
リピーターの小学生のお母さんからは「前回よりも更に充実した楽しい日々を過ごしたようです」というお便りを早速いただきました。

お知らせ 6月中旬より、販売します。

「被曝・医療 福島シンポジウム」報告集
販売価格650円(予定)
※郵送料は、別途かかります。ご了承ください。
※お問い合わせは、お求めはお電話でどうぞ
024-573-9335

編集後記

被曝・医療シンポジウムの参加者アンケートに「反原発・反政府のシンポジウムではなく、もっと県民向けの医療シンポジウムを」という意見がありました。「反原発・反政府」がない医者や科学者は「福島の被曝量は問題ない」と言います。県民の不安に寄り添えば、この国と闘わないわけにはいきません。(え)



私たち家族も夏休みの保養計画中です♪

ふくしま共同診療所 Newsletter

第9号 季刊・春・夏号

診療時間：9：30-12：30/14：30-18：00

	土	日	月	火	水	木	金
午前	●	●	●	●	-	●	●
午後	●	●	-	●	-	●	●

診療科目：内科/放射線科/循環器科/リウマチ科

〒960-8068
福島市太田町20-7 佐周ビル 1階
TEL:024-573-9335 FAX:024-573-9380

ここから通信

「被曝・医療 福島シンポジウム」開催

3月8日、被曝・医療 福島シンポジウム「いま、福島で何が起こっているのか？」が福島市で開催されました。ふくしま共同診療所の医師が中心となった実行委員会が主催し、200名を超える参加者で会場が満員になりました。

シンポジウムでは、4名の医師による講演に続き、IPPNW(核戦争防止国際医師会議)ドイツ支部からのビデオレター上映、福島市の住民による現状報告、医師たちと参加者との質疑応答が行われました。

はじめにふくしま共同診療所 松江寛人名誉院長が挨拶し「当院は、福島の地元の人たちが放射線による健康障害を心配して作った診療所です。福島では『医師が放射線被ばくは安心、安全と言わないと県民が不安になる』と言われる。それは全くの誤りであり、何らかの健康障害がおきるという前提で取り組んでいかなければならない」と述べました。

布施幸彦院長は講演で、検診や診療で県民に寄り添いつつ取り組んできたことをふまえ、小児甲状腺がんが多発していること、福島第一原発の現在も続く危険な状況、復興の名のもとに行われている避難区域への



住民の帰還強制と補償打ちきりなどについて述べました。ベラルーシでは、年間1ミリベクレル以上の地域は、避難する権利があり、その費用も国が負担しているが、日本では、その20倍の汚染地区に住民が生活している現状に対し、ふくしま共同診療所は、「避難・保養・医療」の原則を掲げ、第一に避難を勧めながら、現地にとどまらざるを得ない人々の健康を守るために、甲状腺エコー検査を含めた住民の健康診断、仮設住宅での健康相談と往診、原発労働者や除染労働者の検診と治療を今後も引き続き行っていくことを報告しました。

※3名の医師の講演要旨は2ページに掲載
※詳細は「報告集」を販売予定です

早期発見、早期治療が大切です。

健康を守るために大人も子どもも検診を受けましょう！

お問い合わせ、ご予約はお電話でどうぞ 024-573-9335



<市民検診>

福島市の市民検診 始まります

※受診期間：6/1～10/31

下記の検診も受けられます

- 肝炎ウイルス検査
- 大腸がん検診(一次)
- 肺がん検診(一次)
- 前立腺がん検診(一次)
- 骨粗しょう症検診

個別検診は当診療所で受けられます

<甲状腺・乳腺エコー検査>

- ・土曜日、日曜日にも検査できます。
- ・県民健康調査では、事故当時19歳以上の方が検査対象外とされています。甲状腺エコー検査を受けて、健康を守りましょう。

検査日	土	日	月	木	金
午前 10:00-12:30	○	○	○	○	○
午後 2:30-6:00	○	○	-	-	○

○→甲状腺エコー ●→乳腺エコー
※土曜日の乳腺エコーは女性技師が担当します